

KOSUKE KITAJIMA CUP 2025 追加要項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2024年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝とも10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 予選は区分に関係なく全区分で行う。
- (4) 決勝およびスキンレース（第1ラウンド）は、予選の結果上位10名が出場できる。なお、棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) B決勝は決勝進出者を除く予選上位10名を対象とする。なお、棄権者または決勝への繰り上げ出場者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。ただし、小学生決勝実施種目は小学生を対象としない。
- (6) C決勝の出場は以下を条件とする。
 - 【小学生決勝がない種目】
決勝・B決勝進出者を除く予選上位10名の高校生・中学生・小学生を対象とする。
 - 【小学生決勝がある種目】
決勝・B決勝進出者を除く予選上位10名の高校生・中学生を対象とする。
- (7) 小学生決勝は、決勝進出者を除く小学生の予選上位10名を対象とする。小学生決勝は、50m・100m・200m自由形、50m・100m背泳ぎ、50m・100m平泳ぎ、50m・100mバタフライ、200m個人メドレーのみ実施する。これ以外の種目は小学生決勝を行わないが小学生が出場することはできる。なお、棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (8) 400m種目のC決勝、800m・1500mのC決勝・B決勝は行わない。また、男子800m自由形および女子1500m自由形はタイムレース決勝とする。
- (9) 50m種目の決勝は、3ラウンド制のスキンレースとする。ただし、小学生はスキンレースに進出できない。スキンレースの詳細は別途定める。
- (10) 決勝進出およびスキンレース（第1ラウンド）において、同記録で定員を超えた場合は、スイムオフを行う。ただし、400m以上の種目は抽選とする。スイムオフおよび抽選は、該当の予選ランキング発表後15分以内にリゾリユーションデスクにて選手本人または所属責任者の立会いのもと抽選または実施時刻を決定する。なお、15分以内に集合しない場合は決勝進出を辞退するものとみなす。スイムオフまたは抽選を辞退した選手は、決勝進出の補欠には該当しない。
- (11) B決勝・C決勝・小学生決勝進出において、同記録で定員を超えた場合は、抽選で優先順位を決定する。抽選は、予選競技のランキング表示後15分以内にリゾリユーションデスクにて行う。なお、15分以内に該当選手または所属責任者が集合しない場合は、抽選の権利を失う。抽選の権利を失った選手は、決勝進出の補欠には該当しない。
- (12) 補欠は2名とする。補欠が同記録で定員を超えた場合は抽選を行う。
- (13) エントリー数が10名以下の場合でも予選競技を行う。
- (14) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のために、招集所にはADカードを持参すること。招集所受付で水着の確認を行う。
- (15) 予選を棄権する場合は、実施当日の8時30分までに棄権届出用紙をリゾリユーションデスクに提出するか、電子メールにて添付送信すること。指定時刻までに棄権届出用紙の提出がない場合は棄権料として1種目につき3,000円を徴収する。メール送信の場合の送信先：oc@tokyo-swim.org
- (16) 決勝（スキンレースを含む）および小学生決勝・B・C決勝の棄権はできない。やむなく棄権を希望する場合は、該当予選競技終了後30分以内にリゾリユーションデスクに1種目につき3,000円の棄権料を添えて決勝棄権届出用紙を提出すること。
- (17) すべての競技において無断で棄権した場合は、棄権料とは別に1種目につき3,000円の罰金を徴収する。
- (18) 棄権料・罰金に関して、当該選手が所属する団体は連帯してその責務を負う。
- (19) 決勝以外の競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。50m種目、背泳ぎおよび各種目最終組は、

完泳後速やかに自レーンより退水すること。決勝は横退水とする。ただし、競技の進行状況によって退水方法を変更する場合がある。

- (20) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自で行い、確実に固定されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- (21) 800m・1500m自由形における周回通知は、水中ラップカウンターに表示し、コールは行わない。
- (22) 予選は組のみの紹介、小学生決勝・B決勝・C決勝は各レーンで紹介、決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。
- (23) 選手は退水後、係員の指示に従いミックスゾーンを通過して退場すること。決勝の優勝者はフラッシュインタビューを実施する場合がある。また、取材要請がある場合は、ミックスゾーンにてインタビューを実施する場合がある。
- (24) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし、治療目的の場合は事前にテーピング許可願をリゾリレーションデスクに提出し審判長の許可を得ること。

2 表彰について

- (1) 決勝競技終了後、各種目1位～3位にメダルを授与する。（スキンレース・小学生決勝は除く）
- (2) 小学生決勝競技は各種目終了後、1位～3位に賞状を授与する。
- (3) スキンレースは1位～3位にメダルを授与する。ただし、授与式は優勝者のみとする。
- (4) 最優秀選手（男女各1名）・優秀選手（学種別・男女別各1名）を決勝におけるWAポイントによって選考する。世界記録・日本記録を樹立した選手には追加ポイントを与える。ただし、最終日の優秀選手表彰式に出席できない選手は選考対象外とする。
- (5) 最終日の全競技終了後に優秀選手表彰式を行う。

3 賞金について

- (1) 世界新記録を樹立した者に賞金100万円を授与する。
- (2) 日本新記録を樹立した者に賞金10万円を授与する。
- (3) 最優秀選手に賞金50万円を授与する。
- (4) 決勝競技各種目優勝者に5万円を授与する。
- (5) スキンレースの賞金は以下のとおりとする。
 - ①第2ラウンド進出者に2万円を授与する。
 - ②第3ラウンド準優勝者に5万円を授与する。
 - ③第3ラウンド優勝者に10万円を授与する。

4 ADカードについて

- (1) ADカードは各団体にてホームページよりダウンロードして団体の承認印を押印の上、出場選手およびチームスタッフに配布すること。（A4サイズでプリントして4分割する。プリントはモノクロでも可）
- (2) 選手ADは大会期間中選手1名につき1枚とし、必ず記名すること。
- (3) チームスタッフADは1団体1枚の基本ADに加え、出場選手5名につき1枚追加できる。ただし、基本ADと合わせて合計5枚を上限とする。
- (4) チームスタッフADは団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などの使用は禁止する。
- (5) ADカードは記名されている選手またはチームスタッフ専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時ADカードを携行すること。
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。（折らずに収納できるサイズを使用すること）
- (8) ADカードは参加団体の責任において規定に則り発行すること。不正発行および不正使用を確認した場合は、当該団体を退場処分とする。

5 入退場について

- (1) 大会期間中（24～26日）は、7時00分に開場しチームスタッフ（各団体1名）、選手、その他の順で入場する。（注意）必要以上に早く来場しないこと。
- (2) 選手・コーチの入場は、2階東口とする。（別紙「会場図」を参照）ただし、8時30分以降は2階西口の利用も可能とする
- (3) 天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。

6 控え場所について（別紙「会場図」を参照）

- (1) 控え場所は東側観覧席および4階平場とする。指定区域外への立ち入りを禁止する。
- (2) 荷物やカード・紐などでの場所取り行為を禁止する。一定時間以上放置された荷物類は、忘れ物として撤去する。
- (3) メインプール更衣室は更衣のみとし、ロッカーの使用（荷物の収納）はできない。なお、荷物を更衣室内に放置しないこと。
- (4) サブプール更衣室は使用できない。
- (5) 控え場所（館内すべて）でのメディシンボールの使用を禁止する。

7 プールの使用について ※混雑状況によって変更する場合があるので当日は係員の指示に従うこと。

(1) メインプール

- ① 水深3m、水温28.0度に設定する。
- ② ウォーミングアップは、競技開始15分前までとする。
- ③ ウォーミングアップ時の0レーンは折返し側から、9レーンはスタート側からのダッシュレーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。また、1レーンはペースレーンとする。
- ④ パドル・コード類の使用は禁止する。
- ⑤ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。
- ⑥ 練習中はホイッスルの使用を認める。

(2) サブプール

- ① 水深3m、水温28.5度とする。
- ② 1レーンはダッシュレーン、10レーンは招待選手専用とする。
- ③ パドルの使用は禁止する。
- ④ 混雑時はコードの使用を禁止する。

(3) ダイビングプール

使用できない

8 ストレッチスペースについて

サブプールプールサイドをストレッチスペースとする。利用の際は以下の注意事項を厳守すること。

- ① スペースの専有（場所取り）はできない。
- ② ストレッチスペースでの食事は禁止する。飲料の摂取は認めるが、ゴミは持ち帰ること。
- ③ 利用の際はストレッチマット等の敷物を使用すること。
- ④ メディシンボールの使用を禁止する。
- ⑤ ストレッチスペースでの更衣は禁止する。

9 抗議

- (1) 本競技会は上訴審判団を設置する。
- (2) 競技に関する抗議は、事象発生後30分以内にその団体の監督または代表者が抗議書に必要事項を記入の上、抗議料50,000円（1種目あたり）を添えてリゾリューションデスクに提出すること。

10 公式練習について

(1) 1月23日(木)13時から16時30分まで大会会場で練習できる。

※メインプールのみ使用可能

(2) 入退場方法は「5 入退場について」に準ずる。(開場時刻12:45/最終入場16:30まで)

(3) 入場は、選手・チームスタッフADカード所持者のみとする。一般の入場はできない。

(4) 更衣はメインプール更衣室を利用すること。ただし、ロッカーの使用(荷物の収納)はできない。

(5) 荷物は個人またはチームの責任で管理すること。

(6) プール利用方法は電光表示板に掲示する。

(7) メインプールおよび更衣室以外のエリアは立ち入り禁止とする。

(8) プールサイドは一部設営作業を行っているので注意すること。

11 監督者会議について

監督者会議は行わない。

12 放送・配信について(予定)

(1) CS日テレジータスで決勝競技をライブ放送する。(1月25日、26日のみ)

(2) YouTube「かわずちゃんねる」で競技終了後に全競技を録画配信する。

<https://www.youtube.com/channel/UCKXDgeqAtqJwupKbIJStFKQ>

13 競技結果(速報)およびスタートリストについて

(1) 会場内で競技結果の掲示は行わない。

(2) 競技結果および決勝スタートリストはプログラム番号ごとに速やかにインターネットに公開する。

14 その他

(1) 大会期間中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または保護者の責任において対処すること。

(2) 悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消となった場合でも申込金は返金しない。

(3) 公益財団法人日本水泳連盟および公益財団法人東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。

(4) プールサイドは室内履きに限り使用を認める。

(5) 忘れ物はリゾリユーションまたは受付にて保管する。最終日競技終了後、破棄する場合がある。

(6) 貴重品は各団体の責任において管理すること。

(7) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。

(8) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあるので控えること。

(9) 水泳場前や近隣の路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。悪質な場合は、警察と連携し対応する。

15 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 03-5422-6147(平日10時~17時)

大会期間中の連絡先 03-5534-6388(開場~閉場時刻まで)

KOSUKE KITAJIMA CUP スキンレース競技規程

- (1) 50m種目の決勝は、3ラウンド制のスキンレースとする。ただし、小学生はスキンレースに進出できない。
- (2) 各ラウンドは4分間隔で実施する。
スタート合図（ピストル）から次ラウンドの「take your marks」合図までを4分とする。
 - ①約30秒前にショートホイッスルを鳴らす。
※背泳ぎの場合は続けてミドルホイッスルを鳴らす。（入水すること）
 - ②約10秒前にロングホイッスルを鳴らす。（スタート位置につくこと）
 - ③0秒で「take your marks」を号令する。
- (3) 第1ラウンドにて上位4着までの選手を第2ラウンド進出とする。
- (4) 第2ラウンドにて上位2着までの選手を第3ラウンド進出とする。
- (5) 第3ラウンドにて最終順位を決定する。ただし、同記録の場合は順位が確定するまでラウンドを追加する。
- (6) 第2ラウンド以降は、選手1名につき2名までの付き添い者がプールサイドへ立ち入りできる。ただし、選手への対応は競技成立から次ラウンドの審判長によるショートホイッスル合図までとする。なお、付き添い者は、チームスタッフまたは選手ADを所持している者に限る。
- (7) 付き添い者は、事前（選手招集時）に招集所で立ち入り許可を得ること。
- (8) 選手は完泳後、次ラウンドの審判長によるショートホイッスル合図までに退水を完了していること。ショートホイッスル合図時点で退水していない選手は失格となる。
- (9) 最終ラウンドにて順位決定後、優勝者は直ちにフラッシュインタビューおよびメダルセレモニーを行う。

審判長のホイッスル合図について

- ・ショートホイッスル 「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」（短く4回）
- ・ミドルホイッスル 「ピッー」（やや長く1回）背泳ぎ時の入水許可合図
- ・ロングホイッスル 「ピッーー」（長く1回）